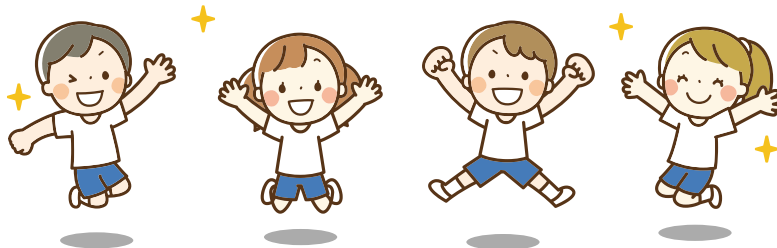


晴天のもとで全力を出し切った！小野小学校運動会

10月12日晴天のもと、令和7年度小野小学校運動会が開かれました。今年のスローガンは「あきらめずに全力・笑顔で最後までともに戦おう！全校生の光る汗と応援で巻き起こせ！小野小ライジング！」です。これは、運動会実行委員会が各学級からスローガンの募集を行い「紅組と白組が心をついて一生懸命競技をがんばり、本気の応援で運動会を楽しくさせたい」という思いで決定しました。開催前の体育の授業では、各学年での競技やダンスの練習、朝の時間では大きな声が響き渡る応援歌の練習、休み時間には代表選手によるリレーや応援団の練習など、毎日取り組んできました。

当日、子どもたちは笑顔で楽しみながら、競技や応援に全力で取り組みました。6年生の小野小ダービーでは、4人1組のグループで馬となり、競い合いました。勢いよく走りほかのグループとの順位が入れ替わる様子を、下級生たちから大きな歓声が飛び、大変盛り上がりしました。



みんなで楽しく過ごした一日！杉の子・あすなろ学級の遠足

10月16日に杉の子・あすなろ学級の遠足が行われ、田村市のあぶくま洞とコミュタンふくしまに行きました。

あぶくま洞では、階段の上り下りが多く暗い通路を先生や支援員さんに付き添われながら慎重に進みました。子どもたちは、さまざまな形の鍾乳石やきれいに彩られた照明に驚いていました。

コミュタンふくしまでは、植物の繁殖する知恵を学習した後、実際に植物の種子をまねて工作した種子を2階から1階へ飛ばしてみました。また施設の方にエネルギーや資源について話を聞き、館内を見学しました。

子どもたちは、約束や決まりを守りながら、普段見ることのない施設や体験をすることができ、充実した一日を過ごすことができました。



<お知らせ>

学校での子どもたちの活動の様子は、「小野町教育ポータルサイト」(<https://ono.fcs.ed.jp/>)に随時掲載していますので、ぜひご覧ください。



第2回小野町学校運営協議会が実施されました

9月30日、小野町学校運営協議会委員の方々にご出席いただき、第2回小野町学校運営協議会を開催しました。委員の皆様は本校の授業を参観していただき、生徒たちが真剣に学ぶ様子や、学校の活気ある雰囲気をご覧いただきました。続く熟議では、「発想の転換 少子化をメリットに」というテーマのもと、活発な意見交換が行われました。「少子化」という課題を、地域や学校の特色を伸ばす「メリット」として捉え直す、さまざまな視点からの貴重なご意見が出され、本校の今後の学校運営を考える上で大変参考になりました。熟議の後は、給食試食会を実施し、生徒たちと同じおいしい給食を堪能していただきました。



○各グループで交わされた意見を紹介！ 「発想の転換 少子化をメリットに」

- ・役割が増す／特別な体験ができる／ひとり一人の個性が大切にされる・育てられる／いろいろな場面で認められる機会が増え、それぞれの肯定感が向上する／先生がひとり一人の子どもに目が届き、手厚い指導・支援ができる／施設や資源が使いやすい／これまで注目されなかった子どもの活躍の場が増える／試合などに出場できる

一方で…

- ・子どもたちの個性を、誰が、どのように、伸ばしていくのか。町の施設が使えても指導者がいなければ個性を伸ばすことはできない。
- ・町には芸術文化サークルが複数存在するが、学校と結びつかない。
- ・SNSなどの情報に振り回されずに人とのつながりを大切に、批判的思考が大切になってくる。
- ・このような会で話し合ったことが、広がらない。共有したり、結びつけられたりできないか。
- ・社会教育を充実し、人材育成をしていくことが大事ではないか。地域をよくしたいと願っている子どもは多い。そのような子どもたちが将来、町のために活躍できるように関わっていくことが大切でないか。

などの意見が交わされました。

お忙しい中、ご参加いただき、貴重なご意見をいただいたことに心より感謝申し上げます。

本校は、これからも地域とともに歩む「コミュニティ・スクール」として、より良い学校づくりに取り組んでまいります。



<お知らせ>

学校での子どもたちの活動の様子は、「小野町教育ポータルサイト」(<https://ono.fcs.ed.jp/>)に随時掲載していますので、ぜひご覧ください。



小野町内クリーン活動、収穫祭

10月24日、学年ごとに3つのコースに分かれ、小野町内クリーン活動を行いました。草むらの中に捨てられた空き缶や普段は気にとめない小さなゴミまで、みんなで一生懸命ゴミ拾いを行いました。



クリーン活動

午後からは学校の校庭で「収穫祭」が行われました。5月に産業技術系列の生徒たちが植えた「ひとめぼれ」が夏の高温にも負けず、見事な黄金色の稲穂となり、収穫されました。秋晴れのもと、つやつやに炊き上がった主役のお米を味わいながら、生徒たちは持ちよった食材でバーベキューを楽しみました。



収穫祭「バーベキュー」



小野高産「ひとめぼれ」

2 学年修学旅行、1、3 学年遠足

11月11日から14日までの4日間、2学年は神戸、京都、大阪を巡る修学旅行へ行ってきました。神戸では「人と防災未来センター」を訪れ、阪神淡路大震災について理解を深め、防災や減災について意識を高めることができました。京都では班別研修、大阪ではUSJで友達と楽しい時間を過ごし、本場の「お笑い」やお好み焼きを堪能し、充実した4日間を過ごすことができました。よい思い出とともに修学旅行で得た学びや経験を学校生活でも生かしていきたいと思えます。

11月14日には、1、3学年の遠足も実施されました。天候にも恵まれ、1学年はいわき方面(アクアマリンふくしま、いわき・ら・らミュウ、イオンモールいわき)に、3学年は那須ハイランドパークに行ってきました。それぞれ友人と親睦を深めながら楽しい時間を過ごし、心身ともにリフレッシュすることができました。



君の夢をカタチに！！
福島県立小野高等学校

福島県田村郡小野町大字小野新町字宿ノ後63
TEL 0247-72-3171 FAX 0247-72-6211
<https://ono-h.fcs.ed.jp>

おのまち認定こども園通信



ハロウィンパレードに 出発！

今年も子どもたちの元気なハロウィンパレードが実施されました。見に来ていた保護者の皆さんに元気いっぱい手を振ったり、一緒に写真を撮ってもらったりと、笑顔あふれる時間となりました。パレードの後にはお菓子のプレゼントもあり、「わあー」とうれしそうなお声があちらこちらから聞こえてきました。お気に入りの仮装を脱ぐことを残念がる様子もあり「まだ脱ぎたくない」と仮装のまま帰りまで過ごす姿も見られました。ハロウィンならではの特別な雰囲気の中で、子どもたちの笑顔とワクワクがいつぱいの楽しい一日となりました。



地域子育て支援拠点事業(おひさまカフェ)のお知らせ

～友だちを誘って遊びませんか～

開催日

月曜日・水曜日・金曜日

開催時間

午前10時から午後3時まで

実施内容

おのまち認定こども園では、0歳から就学前までのお子さんや保護者の皆さんの相談や交流の場として、園を開放しています。

(※こども園に在園していないお子さんも利用できます。)

電話で簡単に予約できますので、お気軽にお申し込みください。

料金

無料

予約先

おのまち認定こども園 ☎73-8321

実施内容

月 日	事業名	内 容
1月中	こども園見学・体験会 (10:00～11:00)	こども園未入園児(入園予定児童含む)の方向けの見学会を行います。(要予約)

小野町児童館キラッと☆おの

こどもの居場所づくり事業 「こども食堂」

小野町児童館「キラッと☆おの」では、こどもたちが安心して過ごせる場所を提供し、こどもの健やかな成長と食育を図ることを目的に毎月1回、小野町社会福祉協議会と連携してこども食堂を開催しています。

ボランティアの皆さんがアイデアを出し合った料理の準備を始めると、こどもたちは、おいしそうな匂いが漂う館内で、遊んだり紙芝居を見たりしながら、ランチタイムを楽しみに待っています。

浮金在住の荒谷さんから新鮮なピーマン、地域の方々からみずみずしいスイカやナスをご寄付いただきメニューに彩りを加えていただいています。

出来上がったおいしいごちそうを前に、こどもたちの笑顔もはじけています。

地域の皆さんとのふれあいが感じられるこども食堂を今後も開催していきます。



日赤すみれ会の皆さん



大好き！カレーライス！



小野町更生保護女性会の皆さん



美味しいね！ロコモコ丼



新鮮なピーマン



オリジナルメニュー

<お知らせ>

こども食堂についての詳細は町公式ウェブサイトで毎月更新していますので、ぜひご覧ください。

☎小野町児童館キラッと☆おの ☎61-4431



☎ 子育て支援課
7212212



母子モアプリ
アイコン



母子モ
QRコード

このほかにさまざまな機能がたくさんあります。妊娠している方、すでに子育てをされている方、どなたでもご利用が可能です。お気軽にご活用ください。

このほかにもさまざまな機能がたくさんあります。妊娠している方、すでに子育てをされている方、どなたでもご利用が可能です。お気軽にご活用ください。

■**家族共有**
お子さんの成長記録を、遠く離れて住むご家族と共有することができます。

■**子どもの成長記録**
150種類の記念日を参考に、写真とコメント付きで記録ができ、日々のできごとを思い出しとして残すことができます。

■**予防接種の管理**
お子さんの生年月日や接種履歴をもとに、接種できるワクチンと最適な接種間隔を自動で算出し、予定日が近づくと事前にお知らせが届きます。

■**子育て情報配信**
妊娠・出産や子育てに関する町のお知らせやイベント情報、各種申請手続きなどを簡単に確認することができます。



便利な機能が
たくさんあるよ！



町では、妊娠期から出産・子育て期をサポートするアプリ「子育て応援アプリおののびby母子モ」を配信中です。

○便利な機能がたくさん
「子育て応援アプリおののびby母子モ」配信中

おのまち 地域おこし協力隊活動記

11月の出来事について

地域おこし協力隊の成井です。10月後半からすっかり寒くなってきましたが、少し温まる話をできたらと思います。

9月から小野町の地域ディレクターになりました。「ふくしま真ん中ワーク&ステイ」の小野町担当というポジションです。具体的にどんなことをするのかという「県外から来られる福島県の県中地方に関心を持つ方々に、案内と交流を通じて関係人口の構築を図り、移住につなげる」という事業です。少し堅苦し

い言い回しですので、簡単に言うと「県外の人たちと仲良くしよう」ってことです。

県中地方振興局が主となり、(二社)キャリア支援機構から各市町村の担当者へ役割が与えられます。しかも県中12市町村を絡めることもできるので、ここでも関係人口が構築できてしまう画期的な事業なのです。

そろそろ小野町も人口問題について考えていかないと危険信号かなと感じているので依頼が来た際は、どんな引き受けようと思っています。

話は変わり、11月8日に東京・有楽町で開催された「福島くらし&しごとフェア2025」に参加してきました。年に一度、福島県の全市町村が出展するイベントです。

小野町は新規の地域おこし協力隊確保と移住希望者の関係人口構築に焦点を絞って臨みました。新しい試みのアンケートフォームを実施して集計を取り、移住希望者の求める支援策や移住に対するポイント、田舎に対してのイメージなどの回答を重視。すると求めているものが同じであったり、目からうろこの良いアイデアだと思ふことが記載してあったりと今回の収穫は今後に生かせるのではと感じています。



なるい ときあき
成井 秋暁 隊員
担当/移住・定住・交流分野
主な活動場所/つどっておのまち

今回の
担当は…

じています。土台がある小野町は人によって光る場所なので、応えられる力のある町になれば自然と人は増えるはずですが、さすが、すべて実現することは難しいので、その中から多くの人に還元できる部分を支援策にできるかどうか。今後の分かれ道だと思います。

少しばかりですが、私のできることが増えましたので、町に有益な情報などを発信していきたいと思っています。町が温かくなれば、の想いで残りの期間も頑張りますので応援していただけると幸いです。

最後に、卒隊後の仕事を見越して古着屋をオープン予定です。Instagramなどでお知らせしますので、ぜひお越しください。

町の移住定住活動を紹介します。 「空き家空き地バンク」に掲載する物件を募集しています！

町では、空き家空き地の利活用促進を図るため「空き家空き地バンク」を運営しています。

相続した物件などでお悩みの方、空き家空き地を売りたい・貸したい方、新しく住居を探している方は、「つどっておのまち」までご相談ください。

空き家空き地バンクへの登録は簡単！

- ① 町に物件登録申込書を提出
- ② 町担当職員が物件の現地確認・調査
- ③ 審査、承認後に公式ウェブサイトへ掲載
- ④ 購入・賃貸希望者とのマッチング



空き家や空き地を放置するとこんな課題が…

- ・固定資産税の負担、資産価値の低下
- ・雑草が伸び放題で景観や衛生環境が悪くなってしまう
- ・倒壊、火災リスクの増、不法侵入による治安悪化
- ・近隣トラブル など

ふるカツ(空き家空き地バンク)
詳しくはこちらをご覧ください▶
町まちづくり推進室 ☎72-6939
つどっておのまち ☎61-6731



交通安全の功労を称え表彰 第16回田村地方交通安全大会

11月8日、第16回田村地方交通安全大会が、田村市で開催され、田村・三春・小野の3市町から交通安全団体の関係者約100人が参加しました。大会の中で、永年交通安全活動に貢献された個人や団体に対して表彰が行われました。また大会では、交通事故のない、安全で安心な田村地方を実現することを誓う大会宣言を採択しました。小野町からは次の方が受賞しました。(敬称略)

○東北管区警察局長・東北交通安全協会会長連名表彰
交通安全功労者
横田 清一(飯豊中)

○全日本交通安全協会会長表彰
交通安全栄誉賞「緑十字銅賞」

交通安全功労者

門脇 秀彦(飯豊下)

優良安全運転管理者
株式会社 高橋建設

○福島県警察本部長・福島県交通安全協会会長連名表彰

交通安全功労者
郡司 浩光(小野山神)

交通安全功労者

田村地方交通安全対策推進協議会長・田村警察署長・田村地区交通安全協会会長連名表彰

交通安全功労者

小野 茂(菖蒲中)

交通安全功労者

今泉 令子(飯豊中)

優良運転者

渡邊 功(平 館)

藤井 義仁(谷津作)

瀬谷 宗平(雁股田)

交通安全優良校

小野町立小野中学校

田村警察署長・田村地区安全運転管理者協会会長・安全運転管理田村事業主会長連名表彰

優良安全運転管理者
株式会社 秋田組

株式会社 秋田組

ブイエス科工 株式会社
福島工場 飛田 渉

交通安全優良事業所

東新電気工業株式会社小野支社
有限会社 石井産業

有限会社 鈴木自動車整備工場

田村地区交通安全協会会長・田村警察署長連名表彰

交通安全ポスターコンクール
入選者表彰

優秀賞

割谷 涼(小野小2年)

郡司 彩椰(小野小3年)

村上 陽莉(小野小1年)

渡辺 心絢(小野小3年)

橋本 紗夏(小野小4年)

石澤 凜(小野小5年)



第10回小野町パークゴルフ協会会長杯大会開催

令和7年度第10回小野町パークゴルフ協会会長杯大会が須賀川市藤沼湖パークゴルフ場で開かれ、男女56人が参加しました。

藤沼湖パークゴルフ場は斜面に建設され傾斜が多く難しいコースが多いですが、参加者の皆さんは果敢に挑み楽しい一日を過ごしました。

結果は次のとおりです。(敬称略)

<男子の部>

優勝	遠藤 英昭
準優勝	合津 修平
第3位	阿部 幸二

<女子の部>

優勝	阿部 京子
準優勝	吉田アヤ子
第3位	佐藤 栄子



株式会社東邦銀行・株式会社バイウィルとカーボンニュートラルの実現に向けた連携協定を締結

町、株式会社東邦銀行、株式会社バイウィルの3者によるカーボンニュートラルの実現に向けた連携協定締結式が11月14日、議場で行われました。

式には株式会社東邦銀行から樽川小野支店長、株式会社バイウィルから齋藤執行役員兼サステナビリティ事業本部長などが出席しました。

この協定は、J-クレジット(※)を中心とする環境価値に関する情報・サービス・ノウハウなどについて連携・協力し、カーボンニュートラルの実現による地域活性化を図ることを目的として締結したものです。

今後、町の脱炭素化を目指し、3者が連携してJ-クレジットの創出および流通を進めていきます。J-クレジットの創出は、LED設備の導入から検討しており、その後さまざまな手法による創出に取り組む予定です。

今回の協定の連携事項は次のとおりです。

【連携事項】

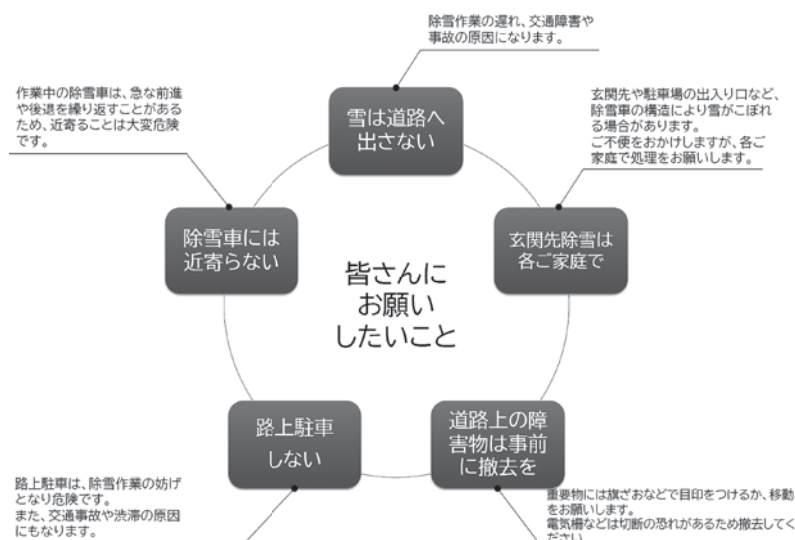
- (1) 環境価値に関する情報・サービス・ノウハウなどの提供
- (2) 環境価値を活用した新たなビジネスモデルの創出
- (3) その他、本協定の目的に資すると双方が認める事項

※ J-クレジットとは、省エネルギー設備の導入や再生エネルギーの活用など、事業者による脱炭素活動により得られたCO₂などの温室効果ガスの排出削減量や吸収量を「クレジット」として国が認証する制度です。発行されたクレジットは他の企業などに売却することができ、排出削減が難しい企業がこれを購入して排出量を相殺するカーボン・オフセットなどに活用されます。



除雪作業にご協力ください

冬期交通の安全性確保のため、県・町では相当量の降雪により交通に支障があると判断した際に道路の除雪を行います。安全で効率的な除雪作業ができるようご協力をお願いします。



□融雪剤を提供しています

町では、道路の凍結を解消するために行政区が行う町道への融雪剤散布を支援しています。

町道へ散布するための融雪剤の提供を希望する方は、行政区長を通じて申請してください。※個人への提供は行いません。

□樹木などの適切管理のお願い

降雪時、道路沿いの樹木や竹が雪の重みで倒れたり、枝が落ちたりして交通事故などにつながる場合があります。

安全な交通確保のため、道路に接する土地に樹木などを所有している方は適切に管理をお願いします。

【管理の方法】

所有する樹木などが道路を覆ったり、道路に張り出すことのないよう、伐採や枝払いを行ってください。

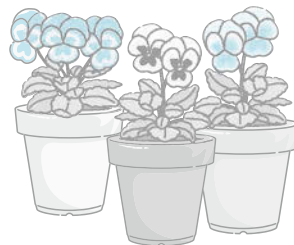
※立ち枯れした樹木は、雪の重みで倒木する危険性がありますので確認と対応をお願いします。不適切な管理による事故が発生した場合、樹木などの所有者が責任を問われる場合があります。ご注意ください。

- 除雪作業は、社会生活を維持する観点から交通量の多い道路を優先に実施します。
- 除雪作業中は、一時通行止めとする場合があります。
- 除雪車が通った直後の道路は滑りやすいので注意しましょう。
- 町道の除雪作業は安全性を確保しながら行うため、夜間作業は行いません。
- 除雪作業はなるべく早い時間帯に実施するよう努めていますが、積雪状況などにより時間帯が遅れる場合があります。
- 歩道や消火栓、防火水槽などの除雪は、地域の皆さんで協力体制を整えて行いましょう。

ライオンズクラブと小野高生が町に彩りを

小野町ライオンズクラブと小野高生の植栽活動が11月17日、小野インターチェンジにて行われ、小野高生が育てたパンジーの花苗約500本を植栽しました。

小野町の玄関口である小野インターチェンジに3色の鮮やかなパンジーを植栽しましたのでご覧ください。ご協力いただいた皆さんに紙上より厚くお礼申し上げます。



宝くじ助成金で消防団備品を整備しました

一般財団法人自治総合センターの宝くじ社会貢献広報事業「コミュニティ助成事業」を活用して、消防団の災害対応力の充実強化を図るため、消防車両用ジャンプスターター(7台)や小型動力ポンプ用フローティングストレーナー(4台)、防火衣(6着)などの災害で使用する資機材を整備しました。

コミュニティ助成事業とは、一般財団法人自治総合センターが、宝くじの社会貢献広報事業として、コミュニティ活動に必要な備品や集会施設の整備、安全な地域づくりと共生のまちづくり、地域文化への支援や地域の国際化の推進および活力のある地域づくりなどに対して助成を行い、地域コミュニティ活動の充実・強化を図ることにより、地域社会の健全な発展と住民福祉に寄与するための事業です。



フローティングストレーナー



ジャンプスターター



防火衣

シルバー人材センター美化活動

11月8日、小野町シルバー人材センターの会員の皆さんによる環境美化活動が行われました。

開会式では、清野孝行理事長から「けがをしないよう気をつけて作業をお願いします」とあいさつがあり、その後、小野町役場、老人憩の家「たかむら荘」、小野町商工会の3カ所に分かれて草刈や植木の剪定、清掃等の活動を行いました。

会員の皆さんの経験と技能を生かした作業で各施設ともきれいに整備されました。

美化活動に参加された会員の皆さんのご好意に紙上より厚くお礼申し上げます。

小野町シルバー人材センターでは、おおむね60歳以上の方が積み上げた知識・技能・経験を生かし、町内のさまざまな場所で地域活動にご尽力いただいています。

ご興味のある方は、下記までお問い合わせください。

☎小野町シルバー人材センター ☎72-2412

